

## 令和6年度第1回長府警察署協議会会議録

|   |                                   |  |
|---|-----------------------------------|--|
| 開催日時  | 令和6年6月21日（金）<br>午後2時から午後3時35分までの間 |  |
| 開催場所  | 長府警察署 講堂                          |  |
| 出席者   | 委員                                | 田尾委員、空田委員、平山委員、池田委員、富賀委員、下谷委員、藤野委員、金子委員、属委員<br><span style="float: right;">計9人</span>        |
|   | 警察署                               | 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域第一兼地域第二課長、刑事課長、交通課長、警備課長<br><span style="float: right;">計9人</span> |
| 議題  | 警察職員採用募集活動の推進                     |  |
| <p><b>1 会長挨拶</b></p> <p>梅雨を迎え、大雨などの災害が発生しやすい時期となった。</p> <p>先日、災害に伴う停電を想定した、警察官による手信号の訓練を視察した。交差点の中央に設置された台の上で、警笛と手の合図だけで交通整理を行う警察官の姿を見て、頼もしく感じた。手信号による交通整理が初めてという警察官もいたが、道路を利用するドライバーも手信号に慣れていないと思う。今後も引き続き訓練を実施し、警察官の技術向上や市民の方への周知を図っていただきたい。</p> <p>本日の諮問事項は、『警察職員採用募集活動の推進』である。委員の皆様にはいつもどおり忌憚のない意見を出していただきたい。</p> <p><b>2 署長挨拶</b><br/>(省略)</p> <p><b>3 業務説明（署長）</b></p> <p>資料に基づき、以下の項目について説明した。</p> <p>(1) 警察安全相談</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 取扱件数</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 主な相談内容と受理件数</p> <p>(2) 犯罪情勢</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 刑法犯の認知件数・検挙件数</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 人身安全関連事案の発生状況</p> <p>(3) 110番受理状況（受理件数）</p> <p>(4) 交通事故の状況</p> |                                   |  |

#### 4 諮問事項説明（警務課長）

資料に基づき、警察職員採用募集活動の推進について説明した。

#### 5 協議

##### （委員）

自分の子供を見ていると、就職を考えるに当たり、仕事の内容を知る機会が少ないと感じる。

警察の仕事について、一般的には「悪い人を捕まえる」「交通違反を取り締まる」くらいのイメージしかないと思う。委員として警察のことを知ると、実に多くの業務があることが分かった。

警察にも多くの部門があり、いろいろな仕事をしているということを学校などで説明すれば、警察の仕事に対する理解が進むのではないか。

##### （委員）

人口が減少しているので、受験者数が減るのは仕方ないと思う。

今回の諮問事項を受け、事前にYouTubeなどで県警の採用に関する動画を視聴した。工夫を凝らした動画だと感じたが、その後に警察官の不祥事に関する動画が表示された。このような動画を見てしまうと、警察に対して悪いイメージをもってしまうかもしれない。

##### （委員）

警察官は柔道と剣道のどちらかを選択するとのことだが、今は格闘技も様々なものがあり、そういったものも認めてはどうか。

子供のころから柔道や剣道をしている家庭は少ないと思う。私が子供のころは、柔道や剣道を指導する人がいて、警察署にも道場があったと記憶している。民間だけではなく、警察署でも指導を行えば、将来的に警察で働こうと考える人も増えるのではないか。

また、警察は庁舎をはじめ「古い、暗い」というイメージがある。事務所などはいまだに昭和の雰囲気、このようなところを新しくするとイメージアップにつながるのではないか。予算が必要であることは理解しているが、ぜひ力を入れてほしい。

##### （委員）

警察は営利目的ではなく、一般の企業とは業務の内容が異なることは理解しているが、最近是不祥事のニュースも多く、イメージが悪くなっているように感じる。警察官は昔から尊敬される職業であり、そうしたことを大切にしてほしい。

##### （委員）

私の職場でも人手不足を感じており、業務改善などを進めてもうまくいかないのが現状である。人手不足は社会全体の問題だと思う。説明を聞く限り、警察は採用募集について幅広く活動していると感じた。

最近では転職ありきの社会になっている。警察には業務の特殊性もあるが、新卒以外にも中途採用を行うなど、募集対象の裾野を広げることも考えてみてはどうか。

##### （委員）

私が子供のころは、交通安全教室などで警察官は身近な存在だった。今の子供たちもイベントなどで警察車両や装備品を見ると喜んでいる。このように、警察はやりがいのある仕事であるが、危険な現場や緊急の呼出しなどのマイナスイメージがどうし

てもつきまとう。

また、他の委員からもあったが、警察の施設は古さ、暗さ、不便さが他に比べてひどいので、こうしたことを改善すると、明るいイメージがつくのではないかと。

インターンシップやリクルーターなど、警察官と直接話ができる取組は、警察の仕事を理解することができるのでよいと思う。市民の安全安心を守る大切な仕事だということも多くの人に理解してもらう必要がある。

#### **(委員)**

警察をはじめ公務員は景気により希望者が増減するものだと思う。人手不足と言われる中、受験倍率が2倍であればよいほうなのでは、と感じる。

小学校や中学校に赴き、職業について学習する機会を活用して子供たちに警察の仕事のイメージさせると、即効性はないが、将来的には効果が出てくると思うので継続したほうがよいと思う。

警察の仕事は多岐にわたるので、リクルーター名刺の裏に詳しい部門紹介などを記載してもよいのではないかと。

警察には音楽隊があり、イベントで迫力ある演奏を拝見したことがある。警察は本当に幅広い仕事をしていると思う。「悪い人を捕まえる」などの、警察に対する一般的なイメージのほか、幅広い活動をしっかりアピールすることも大切だと思う。

#### **(委員)**

私の子供は性格的に警察官に向いていると感じていたことから警察官を勧めたが、結局、別の職業に就いた。あの時、身近に親しい警察官がいて、私とは別の視点で警察の仕事ややりがいなどを聞く機会があれば、ひょっとしたら警察官を目指していたかもしれないと思うことがある。

一般の人から見ると警察の敷居は高く、「自分にはなれない」と感じている人も多いのではないかと。小学校をはじめ、学校での職業紹介などの機会に警察の仕事や魅力を説明していくのは大切だと思う。

#### **(委員)**

中学校や高校での出前授業の説明を受けたが、幼稚園やこども園、小学校まで範囲を広げてもよいと思う。幼いころからお巡りさんを身近に感じる環境を作り、良いイメージを持っていれば、職業選択の際に警察も選択肢として入るのではないかと。

子供たちは、通学中に警察官やパトカーから声をかけてもらったり、笑顔で接してもらったりすると、とても喜んでいる。私も協議会委員として警察に接し警察の仕事を知ると、身近に感じるようになった。警察が身近な存在であることが、警察への理解を深めると思う。1～2年で成果は出ないかもしれないが、数年後、警察で仕事をしたいと思う人が出てくるのではないかと。

#### **(署長)**

本来、警察官や警察職員の採用募集は警務課が担当しているが、現在は県警察の最重要課題の一つとして、部門に関係なく、県警全体で取り組んでいる。

警察は、人の役に立てるやりがいのある仕事であることを前面に出し、警察の仕事の魅力を更に広めるとともに、マイナスイメージについては少しずつでも改善していきたいと考えている。

本日は、中長期的な視点でのご意見をいただき感謝する。これらのご意見を参考に採用募集活動を進めていきたい。

**6 その他**

次回会議は、令和6年8月から11月の間で調整することとした。